

1 2. 参加資格と条件

- ① 大会実施年度に公益財団法人日本サッカー協会（以下、J F Aという）へ加盟登録したチームで一般社団法人福井県サッカー協会第4種委員会（以下、4種委員会という）に加盟登録したチームであること。
- ② 「参加選手」は、上記、加盟登録チームに所属する選手で、「J F A」発行の選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）を有する選手で、かつ「4種委員会」に個人登録し、2006年4月2日以降に生まれた選手であること。（ただし、小学校在学中の選手には、この年齢制限を適用しない）
ただし、6月25日（月）～7月22日（日）の間で他チームから移籍した選手については出場を認めない。
- ③ 大会実施年度のJ F A U-12福井県サッカーリーグ（カテゴリーU-12）「以下、U-12リーグという」のA～Hグループに参加しているチームであること。
- ④ 選手は健康診断を受け、医師の許可と保護者の同意を得、スポーツ傷害保険に加入していること。

1 3. 出場チーム数 32チーム

1 4. 出場条件

2018年4月1日（日）～6月24日（日）の期間内で、U-12リーグの1回戦をすべて終了したチームの内、各グループの上位4チームとする。（各グループ、地区の出場数は以下を参照のこと）

ただし、出場辞退が出た場合は、以下の順での繰り上げ出場とする。

- ① 同グループ内の次順位チーム
- ② 同地域内の次順位チーム
- ③ 地区代表者の推薦するチーム

1 5. 出場枠数

地 区	坂井／奥越		福井／奥越			丹南／福井		嶺南
	A	B	C	D	E	F	G	
グループ								
チーム数	8	8	8	8	8	8	7	8
出場数	4	4	4	4	4	4	4	4

<各グループ内での順位決定方法>

- ① 勝点
- ② 得失点差
- ③ 総得点
- ④ 当該チーム同士の対戦成績
- ⑤ 抽選

<同地区内での順位決定方法>

- ① 勝点
- ② 得失点差
- ③ 総得点
- ④ 抽選

1 6. 大会形式

- (1) 出場32チームでノックアウト方式のトーナメント戦を行う。なお、U-12リーグの同グループ内のチーム同士は、1回戦では対戦しない。
- (2) 1回戦及び準々決勝で敗退したチームはフレンドリーマッチを行うことができる。ただし、相互チームの意思を確認し合った上で、日程表の決められた時間、ピッチで行うこととする。
※フレンドリーマッチを希望する両チームは、必ず、キックオフ時間の30分前までに大会本部に申し出ること。

17. 競技規則 JFA「8人制サッカー競技規則」による。

18. 競技会規定

以下の項目については本大会の規定を定める。

(1) 競技のフィールド

フィールドの表面は、人工芝または天然芝とする。

フィールドの長さ（タッチライン）は68m、幅（ゴールライン）は50mとする。

ペナルティエリア等：

- ・ ペナルティエリア 12m
- ・ ペナルティマーク 8m
- ・ ペナルティアークの半径 7m
- ・ ゴールエリア 4m
- ・ センターサークルの半径 7m

(2) 試合球：モルテン社製 JFA4号公認球

なお、3位決定戦および決勝戦はマルチボールシステムを採用する。

(3) 競技者の数

1チーム8名の競技者によって行われる。チームの競技者のうち1人はゴールキーパーとする。本大会では6人に満たない場合は試合を開始せず、没収試合（0-3）とする。また、試合中に怪我等により人数不足が生じた場合は、6人に満たなくなった時点で没収試合（0-3）とする。ただし、終了時点での得点差が3点以上の場合は、そのスコアを採用する。

※ 一方のチームが8人に満たない場合、両チーム合意の上、極力、両チーム同数とすることが望ましい。

(4) ベンチ入りできる役員の数

すべての試合においてエントリー表に記載されている役員の内、3名以内とする。

(5) 選手交代

試合前に提出されたメンバー表の選手において自由な交代ができる。

- ・ 交代を行うことができる数：3位決定戦及び決勝戦までは、制限なし
- ・ 交代要員の数：原則8名（3位決定戦及び決勝戦のみ）

（交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。）

(6) 交代の手続き

- ① 交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ② 交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り、競技者となる。
- ③ 交代は、ボールがインプレー中、アウトオブプレー中にかかわらず行うことができる。ただし、交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でどこからフィールドを離れてもよい。
- ④ 交代は、補助審判、主審の承認を得る必要はない。
- ⑤ ゴールキーパーは、事前に補助審判、主審に通知した上で、試合の停止中に入れ替わることができる。

(7) テクニカルエリア

設置する。その場合、都度ただ1人の役員のみが、戦略的指示を伝えることができる。

(8) 競技者の用具（ユニフォーム）

- ・ 大会実施年度の本協会「ユニフォーム規程」に則る。
- ・ 選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用すること。
- ・ ユニフォームへの広告表示については、日本サッカー協会 第 4 種大会部会が別途定める規定に基づくものでなければならず、2018 年 7 月 13 日（金）までに J F A に承認された場合にのみ認められる。

(9) メンバー表

大会申込時に提出されたエントリー表のメンバー表のコピーを使用する。先発を○で囲み（3 位決定戦及び決勝戦の交代要員は原則 8 名以下）ベンチ入りしない選手とチーム役員（監督・コーチのベンチ入りは 3 名以下）は横線で抹消すること。さらに必要事項を記入し、試合毎に試合時間 60 分前までに 1 部を本部に提出すること。ただし、3 位決定戦・決勝戦においては、60 分前のマッチコーディネーションミーティングに監督または代表者が、6 部提出すること。なお、ベンチ入りできる選手の数はエントリー表記載の全員が可能とする。

(10) 選手証または電子登録証の写し（写真が貼付または登録されたもの）

1 回戦から準決勝戦までは 1 日 1 回提出し、本部にて選手確認を行う。（当日の初戦 60 分前までに選手確認を終えておくこと）また、3 位決定戦及び決勝戦においては、60 分前のマッチコーディネーションミーティングまでに本部での選手確認を終えておくこと。

(11) 怪我の予防

大会期間中の傷害事故については、チームが責任をもって対処すること。

(12) 試合時間

① 試合時間は 40 分（前後半各 20 分）とする。

ハーフタイムのインターバルは 5 分間とする。（前半終了から後半開始まで）ただし、3 位決定戦と決勝戦においては 7 分間とする。

② 規定の試合時間内に勝敗が決しない場合

1 回戦から準決勝戦は、ペナルティキック方式（3 人）により勝利チームを決定する。

3 位決定戦と決勝戦のみ 10 分間（前後半各 5 分）の延長戦を行い、なおも決しない場合は、ペナルティキック方式（3 人）により勝利チームを決定する。

延長戦に入る前のインターバルは 5 分間とする。（後半終了から延長前半開始まで）

ペナルティキック方式に入る前のインターバルは 3 分間とする。

③ アディショナルタイムの表示を行う。（決勝戦のみ）

※ なお、主審の判断により給水タイムまたは、Cooling Break を設定する場合がある。給水タイムは、前後半とも各 1 分間とする。Cooling Break は、3 分間とする。

いずれも試合の時間には含まれないものとする。

(13) 審判員

すべての試合において、1 人の主審と 2 人の副審と第 4 の審判員が指名される。

(14) 負傷者の対応

主審が認めた場合のみ、最大 2 名ピッチへの入場を許可される。

【サッカー競技規則からの抜粋】

第4条 競技者の用具

(基本的な用具)

競技者が身につけなければならない基本的な用具は次のものであり、それぞれに個別のものである。

- ・ 袖のあるジャージーまたはシャツ----アンダーシャツを着用する場合、その袖の色はジャージーまたはシャツの袖の主たる色と同じでなければならない。
- ・ ショーツ---アンダーショーツまたはタイツを着用する場合、その色はショーツの主たる色と同じでなければならない。
- ・ ストッキング---テープまたは同様な材質のものを外部に着用する場合、それは着用する部分のストッキングの色と同じものでなければならない。
- ・ すね当て
- ・ 靴

(色)

- ・ 両チームは、お互いに、また主審や副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。
- ・ それぞれのゴールキーパーは、他の競技者、主審、副審と区別できる色の服装を着用しなければならない。

注：「服装」とは、シャツ、ショーツ、ストッキング、靴の全体のことであり、同じチーム内でフィールドプレーヤーとゴールキーパーが、同色のショーツ、ストッキングを着用することは、本大会において原則として認めない。

【ユニフォーム規程からの抜粋】

第5条 ユニフォームへの表示：ユニフォームにはチーム名・選手番号を必ず表示するものとする。（略）

(2) 選手番号

- ・ 選手番号は、服地と明確に区別し得る色彩（服地が縞柄の場合には台地を付ける）であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ・ 番号は整数の1から99を使用し、0は認めない。（略）

(15) ゴールキーパーユニフォーム

ゴールキーパーの負傷退場等により、緊急避難的にフィールドプレーヤーがゴールキーパーに代わる場合については、その競技者の番号等の表示を義務付けるものではない。ただし、本大会においては以下の順序によりシャツを着用すること。

- ① 出場していたゴールキーパーが着用していたシャツ
- ② サブのゴールキーパーシャツまたは、サブのフィールドシャツ
- ③ 他の競技者と区別できる色のシャツ（違う番号でも構わない）

19. 審判

- (1) 準決勝戦は、主審のみ一般社団法人福井県サッカー協会審判委員会派遣審判員（以下、協会審判員）が行う。また、3位決定戦及び優勝決定戦は、主審及び副審を協会審判員が行い第4審判は運営協力審判員で行う。なお、準々決勝戦以下の試合については帯同チーム審判員が行う。
- (2) 主審は、試合後審判報告書を本部へ提出し、4種委員会審判長がそれをまとめる。
- (3) 割り当てられた試合の審判員は、60分前に本部又は審判席に集合すること。また、主審はユニフォームの決定を行うとともに審判員と打ち合わせを充分に行うこと。

- (4) メンバーチェックは、試合時間に遅れないように行うこと。
- (5) 審判員は正装で行うこと。
(シャツ、パンツ、ストッキング、資格ワッペン、フェアプレーワッペン、リスペクトワッペン)
- (6) 審判員は、審判証・手帳を必ず持参して下さい。

20. 懲罰

- (1) 本大会は懲罰規定上の同一競技会とみなし、出場停止処分はトーナメント内において順次消化する。
- (2) 本大会は、本協会「懲罰規程」に則り、大会規律委員会を設ける。
- (3) 大会規律委員会の委員長は4種委員長とし、委員については委員長が決定する。
- (4) 本大会期間中に警告を2回受けた選手は、本大会の次の1試合に出場できない。
- (5) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に次の1試合に出場できず、それ以降の処置については大会規律委員会において決定する。
競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止すること。
- (6) 本協会諸規程および本記載事項にない事例に関しては、大会規律委員会にて決定する。

21. 開・閉会式

開会式は行わないが、閉会式は、ベスト8以上の参加全選手が参加して行なう。

22. 表彰

- (1) 優勝チームには、表彰状、優勝旗、優勝カップ、トロフィーを授与する。
- (2) 準優勝・第3位・第4位チームには、表彰状とトロフィーを授与する。
- (3) 上記以外のベスト8進出の4チームには、特別賞を授与する。

23. 大会運営

4種委員会、各地区役員、担当地区チーム、出場全チームで協力して行う。

24. その他

- ・ 本大会決勝戦は、FBC福井放送で録画放送される。
 - ・ 代表者会議及び抽選会は行わない。トーナメント戦での組合せは、4種委員会及び各地区代表で決定する。
 - ・ U-12リーグ参加全チームは、法人会連合会よりの「アンケート」の回答・提出をお願いします。
- ※ 「アンケート」は、U-12リーグ参加全チームの連絡先にメール配信します。

以下、「アンケート」提出順に従い対応すること。

- ⇒ メール受信後、アンケート用紙をU-12リーグエントリー数分印刷し選手に配布
- ⇒ チーム内でアンケート用紙を回収し各地区代表者に原本を提出（提出期限7月13日）
- ⇒ 各地区代表者はアンケートを集約し、7月16日までに第4種委員長に提出
- ⇒ 第4種委員長はアンケート集約後、7月21日までに福井放送株式会社に提出

